

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月19日		記入者		連絡先 2514
部 名	市民部	課 名	市民生活課	課長名	中野 清
事務事業名	コミュニティ助成事業				
予算上の事務事業名	コミュニティ助成事業助成金				
1 総合計画における位置づけ			施策コード	17110	
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業実施要綱 相模原市補助金等にかかる予算の執行に関する規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
コミュニティ活動の推進を図るため、催し物等開催時に使用する備品を整備する。			相模原市自治会連合会		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動)なのか。 市からの助成金を基に、相模原市自治会連合会が中央・光が丘・大野北・大野中・麻溝・新磯の6地区自治会連合会に対して、備品を整備した。 決算額 2,500千円 18地区自治会連合会を6地区ずつ3グループに分けて、3年で一巡するよう計画している。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
県内各市町村の多くが同様に財団法人自治総合センターの助成を受け、同事業を実施している。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
一般財源	0	0	0	400	0
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	2,500	2,500	2,500	2,100	2,500
人件費の合計	66	66	66	66	66
事業コスト合計	2,566	2,566	2,566	2,566	2,566
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	コミュニティ助成事業			対象名称と単位	助成地区数
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	2,566	2,566	2,566	2,566	2,566
対象数	6	6	6	6	6
単位あたり経費(円)	427,667	427,667	427,667	427,667	427,667
前年度比		1.00	1.00	1.00	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	助成対象地区数	指標式と指標の説明	助成対象地区（実績）／助成対象地区（目標）		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	6.0	6.0	6.0		
目標	6.0	6.0	6.0	6.0	6.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	助成金額（単位：千円）	指標式と指標の説明	助成額／予算額×100		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	2500.0	2500.0	2500.0		
目標	2500.0	2500.0	2500.0	2500.0	2500.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		財団法人自治総合センターの助成を受け、実施している事業であり、個性豊かな地域づくりに資するものである。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 助成事業の継続を図る。			14 課題として認識されたこと		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		特財の範囲で事業の実施に努めること。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			